

ウィザス

No.117



芦屋市男女共同参画センター通信
2025年 春号

With us
“共に生きる—男女共生社会—”の
理念を表しています。



芦屋市防災総合訓練（1月26日）の様子

今回のトピックス

災害時に必要な女性の視点

1995年に発生した阪神・淡路大震災から30年が経ちましたが、その後に起きた東日本大震災、そして昨年の能登半島地震は記憶に新しいと思います。また能登半島では地震のみならず、集中豪雨により、重ねて被害を受けました。

こうした災害で課題になるのは、避難所の運営や復興への作業の中で、女性や子ども、性的マイノリティ、高齢者、障がい者等、社会的弱者の視点がおざなりにされることです。

例えば、女性が着替え場所や授乳室をほしいと声をあげにくかったり、生理用品が適切に配布されない、乳児のミルクが不足して困るなど、当事者でなければ気づきにくい、さまざまな問題が浮き彫りになってきます。

また、避難所生活が長期化するにつれ、先の見えない精神的な疲弊のため、深刻な性暴力やDVが増えてきます。災害時には、より一層声を上げにくい状況になるので、いつも以上に周りの注意や配慮が必要です。

平常時から女性が地域に根ざした活動を進め、男女共同参画の視点を大切にするすることで、災害時にも社会的弱者に優しい社会につなげることができます。

過去の教訓から、明日にも起きる可能性のあることとして、防災について考えてみませんか。

CONTENTS

- 01 ■ トピックス「災害時に必要な女性の視点」
- 02 ■ 市民編集委員の声「避難所を女性の視点で考える」
- 03 ■ 講座レポート・講座等のご案内
- 04 ■ お知らせ ■ 女性相談のご案内等 ■ おすすめ図書



阪神・淡路大震災から30年、避難所での女性問題を考える

これまで日本は数多くの災害に見舞われてきましたが、災害のたびに避難所運営において女性の視点が欠けていたという指摘がされています。

例えばー

- ①避難所に仕切りや更衣室がなく、プライバシーが確保できない。(プライバシーの欠如、プライベートスペースの不足)
- ②女性や子どもへの暴力が増加する。(性被害の増加)
- ③女性のみが炊き出し等のケア労働を担い、疲労が蓄積する。また避難所のリーダーは男性が多く、女性は必要なものをもらいにいったり要望をしたりしづらい。(性別を理由とする役割分担の偏り)

過去に起きた災害の記録からも、多くの女性が同様の困難な状況に直面したことがわかっています。平成25年から平成30年の5年間に、24時間の無料電話相談「よりそいホットライン」の女性専用ラインにかかってきた内容を分析すると、東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島県からの相談の5割以上が性暴力に関する内容であったということです(※)。

災害時に浮き彫りになるこれらの問題は、平常時から課題になっていることが多く、その解決が災害時により深刻な被害になることを防ぐのではないのでしょうか。

これらの課題がわかりやすく描かれている小説を紹介します。

垣谷美雨さんの『女たちの避難所』は、東日本大震災をモチーフに、異なる年代の女性3人の被災体験を描いた物語です。著者は震災に関する資料を読み込み、被災した友人に話を聞き、現地を案内してもらって書いたとか。

主人公3人は被災し、厳しい避難所生活に直面します。そこでは男尊女卑が当たり前のよう存在し、女性への配慮はなく、授乳するにも人の目を気にしなければならない環境でした。彼女たちは、日本の社会というのは女性の我慢を前提に回っているものだと気づき、結局前からあった問題が震災で鮮明になったということに思い至ります。女性3人が手を取り合って困難を乗り越えていくシーンに力を与えられます。

※参考サイト・NHK みんなでプラス
「災害時の性被害 東日本大震災で
見えてきた被災地の声」

電話相談窓口
よりそいホットライン
厚生労働省ホームページ



『女たちの避難所』
垣谷美雨／著 (新潮社)

いろいろな人に配慮した避難所づくりが大切

避難所では、たくさんの人が狭い空間で共同生活を行うこととなります。必要な支援は人それぞれです。過去の教訓を生かし、女性のニーズや地域の人々の多様性に配慮されるような避難所づくりをしましょう。



- 運営体制 男性だけでなく、女性や若い世代が参加して、女性や子育て世帯の意見を反映しやすくする。運営のリーダーは男女バランスよく配置しましょう。
- 女性用品 女性用品は、女性の担当者から配布したり、女性専用スペースや女性トイレに常備する等、配り方にも工夫を。
- 役割分担 炊事や片付け、清掃などは性別や年齢で固定化せずに分担しましょう。
- 相談窓口 不安や悩み、女性に対する暴力などに対する相談窓口を設置し、広く周知しましょう。

編集委員のつぶやき

1月26日、シンコースポーツ体育館・青少年センター、グラウンドで行われた防災総合訓練に行った。避難時に持ち出す物のチェックリストや防災用品のカatalogをもらい、必要な物を考える。段ボールベッド体験では実際に寝転び長期間これを使用することになったら、と想像してみる。人の賑わいに防災への関心の高まりを感じた。(菅)

講座レポート

実施しました!

絵本でおうち性教育!

【講師】安達 光生 氏
(ハート♡あらいぐ代表)

～大好きから始まる性のお話～

令和7年1月18日(土)

おうち性教育の入り口として、絵本を使うポイントを学ぶ講座を実施しました。絵本講師より、おすすめ絵本の紹介や、読み聞かせの時間もあり、大人も子どもも聞き入る姿がありました。会場には何十冊もの絵本や大型絵本が並び、眺めるだけでも楽しい会場でした。今まで、おうち性教育に興味はあったけど、どうしたよいか困っていた方も、始めてみるきっかけとなったのではないのでしょうか。



講座に参加した方からのアンケート

- 性教育は敷居が高いイメージでしたが、小さい時から、親がオープンに子どもに伝えることで、自分自身を正しく守ることができるのだとよく分かりました。絵本を通しての性教育が、親子にとってとっつきやすいものだったので参加しやすかったです。
- 実際にどんな絵本が良いかを教えていただき、性教育の参考になりました。本屋さんなどに寄ってみて、子どもに合った絵本を選んであげたいと思いました。



パズルで学ぶ! パパと子どものためのお片付け講座

令和7年2月8日(土)



【講師】野間和美氏(おうち時間<Family Life Management>代表)

整理整頓でお部屋も心もスッキリ!

パズルで学ぶ パパと子どものためのお片付け講座

知育玩具の「おかたづけキッズパズル」を使って、親子で片付けのコツを学ぶ講座を開催しました。子どもたちは、お父さんと一緒にパズルを使ったワークに取り組み、物が片付いていると探し物を見つけやすくなることを、楽しみながら体験しました。

女性のための 「もっと知りたいInstagram」講座

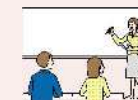
令和7年2月15日(土)



【講師】原優花氏、松下加奈子氏、志水知子氏

起業して間もない方、起業を目指している方を対象に、情報発信には欠かせないツール「Instagram」を、自身の事業や活動にうまく活用していくためにはどうしたらいいか、基本的な仕組みや写真の構図、撮影ポイントを交えて、3人の講師から学ぶ講座を開催しました。

講座等のご案内



★芦屋リジューム marche (マルシェ)

令和7年3月2日(日)
午前10時30分～午後3時

参加無料 入退場自由

活動をさらに一歩進めていきたい女性たちが、自分のできることを活かして、実践するチャレンジマルシェです。



(昨年のマルシェの様子)

★女性部下と働く管理職向けセミナー

～職場で実践できる!

部下への効果的な働きかけ～

令和7年3月19日(水) 参加無料
午前10時～正午 要予約

働き方が多様化する中で管理職の悩みや課題を共有しつつ、「アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見・思い込み)」について考え、部下の個性や事情(育児・介護等)に応じた効果的なコミュニケーションを学ぶ講座です。



詳細はこちら♪

☆申込みは上記の二次元コードへ。

☆講座内容等は変更となる場合がございます。最新の情報は、市ホームページをご覧ください。

市ホームページ

お知らせ

3月8日は国際女性デーです

国際女性デーは、国連が女性の地位向上のために定めた、国や民族、言語、文化、経済、政治の壁に関係なく、女性が達成してきた成果を認識する日です！
この日にあわせ、芦屋市男女共同参画センター（ウィザスあしや）でもさまざまな事業を実施します。

国際女性デー記念事業

- ★記念パネル展示
市役所本庁舎北館1階東側通路壁面
展示期間：3月1日～3月8日
- ★映画上映会「マイ・ニューヨーク・ダイアリー」
※定員に達したため申込受付は終了しています。
- ★ミモザでリース作り体験
※定員に達したため申込受付は終了しています。



▲ 昨年度のパネル展示風景

男女共同参画の視点での防災

～防災総合訓練にブース出展しました～

1月26日（日）に実施された防災総合訓練では、訓練放送に従う避難訓練の他、リアル避難ゲーム、キッチンカーによる食事販売、ポンプ車などの車両展示などが行われました。男女共同参画センターからは「災害時に必要な女性の視点って？」をテーマに、クイズや非常用持出袋の展示を行うブースを出展し、多くの皆様にお立ち寄りいただきました。クイズを通して、男女共同参画の視点で災害に備えるきっかけとなれば幸いです。



表紙写真もご覧ください😊

防災

BOOK

おすすめ図書のご案内

- ★スマホで防災 - 家族も自分も守る！
スマホで始める最新防災マニュアル
iPhone/Android 両対応
宮下 由多加【著】（ジャムハウス）
- ★どうぶつポーズであそボウサイ
かなざわまゆこ / こがりょうこ（KADOKAWA）
- ★anan 特別編集
最新版女性のための防災 BOOK - もしものときに、あなたを守ってくれる知恵とモノ（マガジンハウス）



▲「情報コーナー」の詳細はこちら



図書の貸出

男女共同参画センター1階の「情報コーナー」では、図書の貸出をしています。ひとり2冊2週間まで、どなたでも借りられます。

※初回登録時には、名前・住所を確認できる本人確認書類をご提示ください。

秘密厳守、面接相談、相談無料

「こんなことで…」と思わずにまずはお電話ください。

予約専用電話 0797-38-2022

女性のための相談窓口

【予約受付時間】月曜日～土曜日
午前9時～午後5時30分（祝日、12/28～1/4を除く）

一時保育あり

要予約

心の悩み相談

女性の抱える生きづらさやさまざまな悩みを女性のカウンセラーがゆっくりお聴きし、心の整理をお手伝いします。

第1・第3火曜日
第2・第4金曜日
午後1時～午後4時
(1人50分)

家事相談

離婚・養育費・相続などの夫婦・親族間の悩み相談に女性の元家庭裁判所調停委員が応じます。

第3金曜日
午前11時～午後4時
(1人50分)
※調停中の案件不可

法律相談

夫からの暴力や離婚問題、家族関係のトラブルやセクハラなどの法律上の相談に女性の弁護士が応じます。

偶数月：第1水曜日
奇数月：第2土曜日
午後2時～4時
(1人30分)
※1案件1回限り・係争中の案件不可

女性のためのステップ相談（女性活躍相談）

再就労・起業・地域活動をしたいと考えている女性からの相談に女性のキャリアカウンセラーが応じます。

月・火・水・金曜日
午前9時～午後5時30分
(1人50分)
※上記の相談日以外を希望の場合は要相談

● 一時保育あり（無料・要予約）

● 場合によって日時の変更があります。ホームページやお電話でご確認ください。

芦屋市DV相談室（芦屋市配偶者暴力相談支援センター）

配偶者やパートナーからの暴力に悩んでいる方

DV相談 ☎ 0797-38-9100

～ひとりで悩まずお電話ください～

【受付時間】月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）午前9時～午後5時30分
【電話・面接相談】秘密厳守、相談無料、一時保育あり（無料・要予約）

芦屋市女性サポート相談室

困難な問題を抱えている女性

☎ 0797-38-9130

ウィザス

No.117

令和7年3月発行（春号）

編集協力

企画・発行

芦屋市
ホームページ

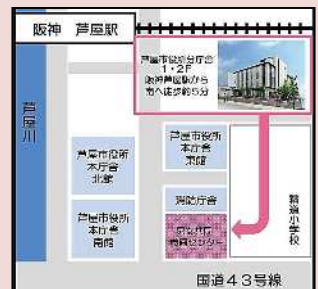


市民編集ボランティア

芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや

〒659-0064
兵庫県芦屋市精道町8番20号（市役所分庁舎1・2階）
TEL：0797-38-2023 / FAX：0797-38-2175
Eメール：josei-ce@city.ashiya.lg.jp

- 開館 月曜日～土曜日・午前9時～午後5時30分（窓口受付時間 午後5時まで）
- 休館 日曜日・祝日・12月28日～1月4日



『ウィザス』のバックナンバーはこちら

